

令和7年度指定管理者評価結果

評価対象期間	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	施設所管課	生涯学習課
施設名	夢広場はるひ（清須市立図書館・清須市はるひ美術館・はるひ夢の森公園）		
指定管理者	TRC・名古屋三越グループ共同事業体		
指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日		

評価結果

評価項目	評価結果	評価、改善すべき点等
1. 施設サービスの 実施体制	A	人員体制、利用料金の取り扱い、記録管理、個人情報保護などについて適正に行われていた。危機管理については、避難訓練・消火訓練・通報訓練は、年2回実施し、職員の防災教育に努められていた。
2. 市民サービスの 内容や水準	A	利用者対応、利用案内、苦情、施設の維持管理などについて概ね問題なく対応できていた。清須市ホームページや清須市LINEなどを活用する他、地域情報誌等も活用し、情報発信に努められていた。 はるひ美術館館長アートトークや美術館の展覧会関連イベントを図書館で開催する他、夢の森公園での図書館事業「わくわくパークライブラリー」を行うなど、指定管理者の特性を活かした連携に努められていた。
3. 施設の収入支出 の状況	A	図書資料は仕様書に準じて購入し、リクエスト本にも対応できた。美術館観覧料収入は前年度比180%程度と大幅に増加し、過去5年間では最高値となった。
総合評価	A	図書館は、大規模改修工事の関係で減少していた入館者数が前年度比112%程度（令和5年度比101%程度）まで回復した。 また、令和5年度より始まったあいち県民の日や学校ホリデー関連事業で、利用者へのグッズ配布や関連イベントを企画するだけでなく、地元企業と連携したワークショップを開催するなど、図書館の利用促進を図っていた。 美術館では、様々な世代の方が楽しめる特別展「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」が開催され、家族連れを中心に集客がみられた。また、展覧会に関連したワークショップやイベントなど、利用者の満足度の向上にも努められていた。 図書館、美術館、公園とも施設の管理を概ね適切に行い、サービスの向上に努めたことを評価する。

S＝優良、A＝良好、B＝課題含、C＝要改善

参考統計

○図書館関係

（各年度3月末現在）

	年度	入館者数	貸出人数	貸出冊数
図書館	5	182,185 人	59,882 人	303,667 冊
	6	165,408 人	55,860 人	276,479 冊
	7	184,606 人	56,970 人	282,259 冊

○美術館関係

	年度	入館者数	開館日数	観覧料等収入額
美術館	5	17,820 人 (うち特別展 8,653 人)	266 日	5,342,310 円 (うち特別展 4,716,600 円)
	6	15,895 人 (うち特別展 6,870 人)	255 日	3,292,960 円 (うち特別展 2,668,000 円)
	7	18,229 人 (うち特別展 10,336 人)	261 日	5,912,200 円 (うち特別展 5,164,200 円)
公園	5	—	—	942,740 円
	6	—	—	712,420 円
	7	—	—	674,890 円